

# きらめき

## 「いい活動ですね」・・・いい活動？

水槽の中のフナの卵は、過日の田植の裏側で、上手に卵のついた水草を選別してくれた子の活動の甲斐あって7匹の稚魚が誕生しました。一方で、田の中でどれだけの稚魚が誕生しているか・・・これは未知数。



田植では、区長会長様、平根小学校コミュニティー・スクール会長様のご協力を頂きました。急なお願いにも関わらず早朝からの田植に参加してくださいました。



同じ田でもフナの住む生簀と、イネの成長の為の田では、環境を変える必要があります。水産試験場に問い合わせると、生簀は深さ25センチは必要とのこと。生簀を掘り、深さを出すひつようがありました。

田植と同時に、分業制で生簀の環境整備も行いました。

田で作業をしていると、本当に多くの地域の方が車を止め、足を止め「いい活動ですね」と声を書けます。最初は子どもたちの原体験的活動に対して「いい活動」と言っているのだろうと思っていました。しかし、注意して話を聴くと、誰もが共通する話題を語ります。「昔の平根では・・・」その声は実に若々しい。地域の「先輩たち」は、私たちの田（活動）を通して、どうやら若かりし頃の平根を思い出しているようです。「あの時代」の平根や自分を想起しているようです。それが「いい活動」と言う理由のようです。フナの収穫お米の収穫だけでなく、この田（活動）は、「先輩たち」の元気も育てているようです。